



次世代 AI 教育

株式会社



生産性を**大幅向上**させたい企業さま必見
研修費用の最大 **75% の助成金**を受けられる

ChatGPT 導入研修

会社全体の生産性の向上
従業員のスキルアップ
助成金申請サポート付き

INDEX

01. 会社概要

02. 企業における人材育成

03. サービス概要

04. サービス詳細

05. 4つの特別特典

06. お問い合わせ





01

会社概要

次世代 AI 教育株式会社

会社概要

会 社 名 次世代 AI 教育株式会社
大 阪 本 社 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町 1-6-9 DP スクエア堺筋本町 8F
東 京 支 社 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 4-24-6-1F
代表取締役 高野 聡史
設 立 2023 年 10 月

事業内容

AI 化・DX 化促進教育事業
デザイン制作 ブランディング事業
ウェブサイト制作、運用管理
人工知能を活用したメディア運用、コンサル：AI 速報ドットコム <https://aisokuho.com>
システム開発、コンサルティング
生成 AI を活用したブランディング設計及び運用、コンサル



次世代 AI 教育株式会社

設立の想い

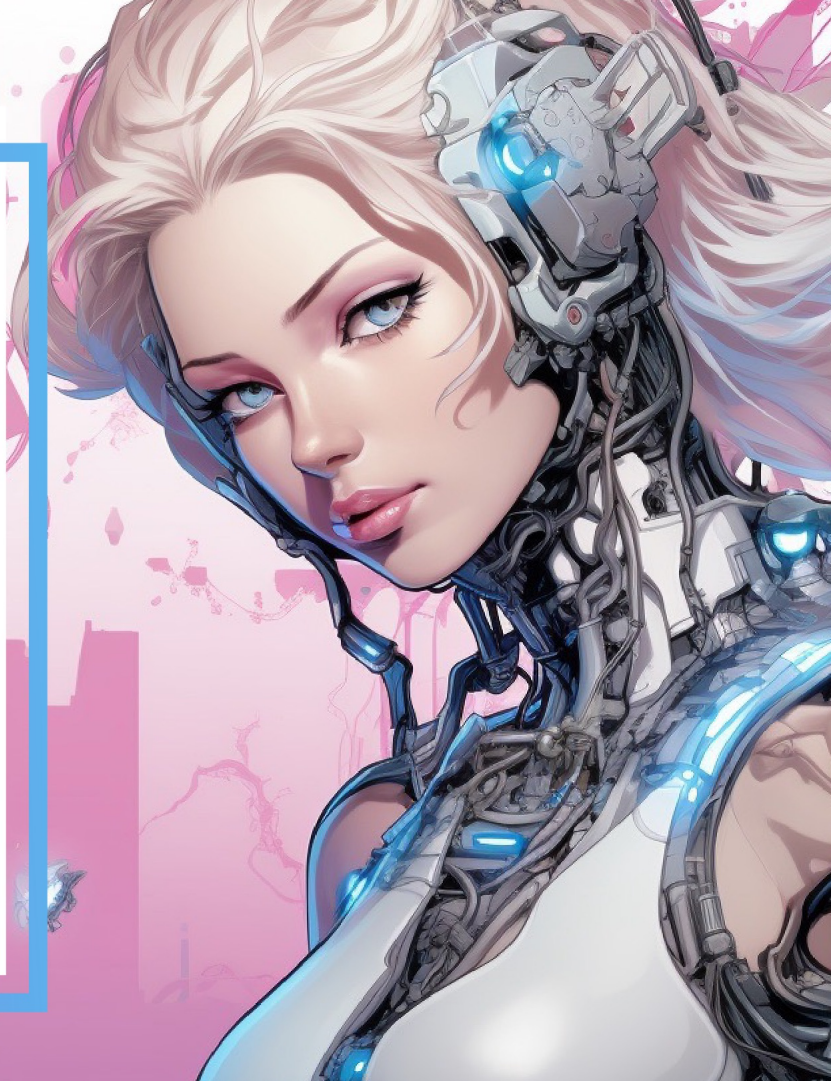
たくさんの人の身近に AI が届き、出来ることの量が膨大に増え、質が格段に向上した今、「どの AI を使うか」、「AI を使って何が出来るか」ばかりに注目が向けられていますが、「誰が、何の為に、どう向き合い、何を得て、どう共に生きるのか」が本来持つべき課題であると 我々「次世代 AI 教育株式会社」は考えています。

AI からの最大の贈り物は「時間」です。
マネーワーク→ライフワークへ

個人、企業、大小、老若男女問わず
お金の為の働きからの解放により
本来のやりがいの為の働きへ。



AI よりアイを込めて
~with Love from AI~
代表取締役 高野 聡史





02

企業における人材育成

競争が激化する企業運営

近年、生成 AI の登場や通信速度の大幅な進化による動画コンテンツの台頭、SNS の普及などにより企業間の競争は激化しています。顧客の信頼を獲得するために必要な要素は多様化し、顧客がサービスを選択する基準は今まで以上にシビアになり多様化していると言えるでしょう。企業がこの厳しい競争を勝ち抜き、成長を続けるためには、従業員のスキルアップが不可欠です。技術革新が進む中で、ビジネスの現場では新たな知識やスキルが次々と必要となります。それに迅速に対応できる人材の育成が急務となっています。従業員のスキル向上は、企業の競争力を高めるだけでなく、社員のモチベーションや生産性の向上にも大きく影響いたします。このため、現在の社員を大切に、その能力を最大限に引き出すための人材への投資は、将来の企業成長の礎となります。今こそ、従業員を大切に育て、そのスキルを向上させる取り組みを強化していきましょう。



顧客



企業

様々なサービスが世に溢れ
選択の基準が上がっている

情報発信の課題

企業間競争の激化
AI などのシステムの導入の遅れ
顧客への発信の質とスピード
動画コンテンツの重要度の上昇
従業員のスキルとリテラシー
コストパフォーマンス



従業員

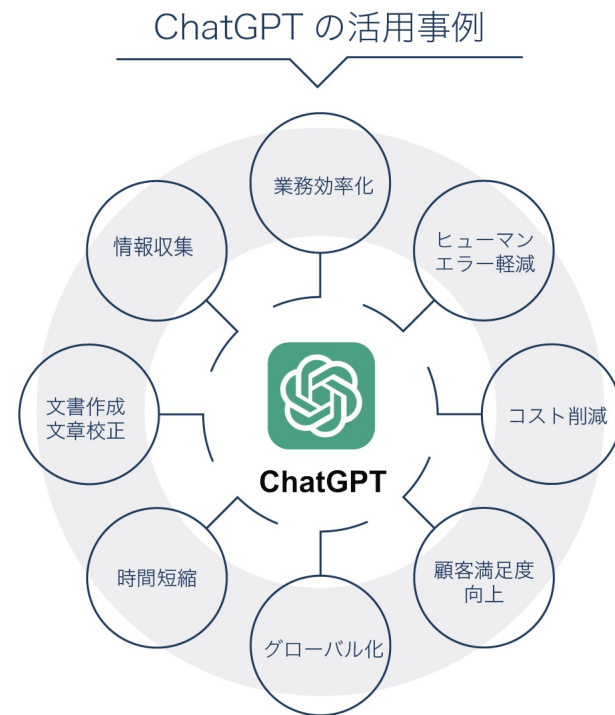


進む業務の効率化と AI

ChatGPT の登場で

高速化・効率化するビジネス

2022 年12月に登場し、ほぼ一夜にして爆発的な話題を呼んだ **ChatGPT** は、サービス開始からわずか 2 ヶ月後には、ユーザー数が 1 億人を突破し、「史上最も急速に成長したインターネットサービス」と称されています。昨今 ChatGPT をはじめとした **AI ツール** がビジネス界に与える影響は計り知れず、**顧客満足度の向上、業務の効率化** には欠かせない存在となりました。ベンチャー企業から大手企業に至るまで**現場導入は必須**であり、逆に導入を見送ると、顧客対応の迅速さや業務効率の面で競争力を失い、**市場での優位性を損なう**リスクすらあるのが現状と言えるでしょう。



こんなお悩みはありませんか？

経営者と従業員が現場で抱える業務の悩み

経営者の抱える課題



- ・事業の生産性を向上し業務効率化したい
- ・従業員のネットリテラシーの向上させたい
- ・業務の人為的なミスを減らしたい
- ・従業員の働きやすさを向上したい
- ・コストを削減し利益を最大化したい

従業員の抱える課題



- ・DX化、AIなどがよくわからない
- ・単純作業の負担が大きい
- ・顧客対応などのストレスが大きい
- ・複雑な業務システムは扱いづらい
- ・アナログすぎる業務で効率が悪い



社内リテラシーを高めるメリット

会社内に **Chat GPT** を扱える人材を多く育成することで
業務効率が飛躍的に向上します。

育成



スタッフ

活用



カスタマー
サポート



文書作成・編集



社内
コミュニケーション



データ分析
レポート作成



マーケティング



教育・トレーニング

飛躍

業務効率化

生産性向上

コスト削減

企業における ChatGPT 導入成果事例

すでに世界の多くの企業で全社的に ChatGPT を業務に取り入れ業務効率化やコスト削減に活用しております。
国内でも大手 3 社が導入を行っており大きな成果が現れています。

国内大手企業の ChatGPT 導入事例

①パナソニック

Panasonic

**自社独自の AI を開発
プログラミング業務大幅時短**

パナソニックコネクトはチャット GPT をベースに開発した独自の「コネクト AI」を全社に導入。プログラミング業務でこれまで 3 時間かかっていたものを 5 分で処理できるようになるなど、想定以上の成果を確認しました。

参考： https://news.tv-asahi.co.jp/news_economy/articles/000305183.html

②サイバーエージェント

CyberAgent.

**AI による広告効果の自動予測
30 人以上で行っていた業務が自動化**

自社開発のデジタル広告制作支援システム「極予測 AI」を使い、作成したバナーを解析、広告効果の予測値を算出。既に配信しているバナー広告のうち広告効果が最も高いものと予測値を比較し、上回ったものを配信する体制を構築しました。既にサイバーエージェントの顧客企業の 8 割に、同システムを使ったバナー広告を納入しており 30 人以上で行っていたディレクション業務が不要に。

参考： <https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02466/052600002/>

③日清食品

NISSIN

**自社独自の AI を開発
1 人当たり年間 442 時間の工数削減
社員の心理的な業務負担軽減**

社内専用 AI「NISSIN AI-chat」を開発・導入し、1 人当たり年間 442 時間の工数削減を見込んでいるとのこと。営業分野での活用促進を特に進めており商談内容の要約や資料の構成案の作成、マーケット情報の報告書の作成、エンタメ企画の検討、テーマ性のある売り場提案、プレゼンのスクリプト作成など、30 個のテンプレートを仕事に活用。顧客満足度を底上げし、社員の心理的負担を軽減。

参考： https://ledge.ai/articles/ledgeai_expo_2023_summer_review_nissin



人材開発支援助成金とは

人材開発支援助成金とは、企業が新たな事業の立ち上げや拡大を行う際に必要な知識や技術の習得にかかる教育費用の一部を国が助成する制度です。中小企業の場合は最大で75%が助成金から補填され返ってきます

研修費用 **40万円** の場合

75% (30万円)

25% (10万円)



助成金から補填



自己負担



人材開発支援助成金の対象となる企業

支給対象の教育内容

1. 教育時間が 10 時間以上であること
2. 企業の業務とは別に行われる教育であること
3. 企業の DX 化・効率化に必要な知識・技術習得であること

支給対象者

事業主：雇用保険が適用される事業所の主であること
労働者：雇用保険に加入している者（アルバイトも可）



次世代AI研修料金

- 自動化スキルの習得
- 充実したサポート体制
- 学びやすい短編動画コンテンツ
- 定期的なオンラインでの相談会
- 社内DXの実現まで**徹底サポート**

全て込みで1人あたり

400,000 (税込) 円





03

サービス概要

ChatGPT 導入研修とは

労働局の展開する「人材開発支援助成金」制度を活用し、事業主が社員に ChatGPT の研修を提供する際の訓練経費や研修中の賃金の一部などの費用を最大 75% を助成しながら、AI 技術（ChatGPT）を活用したコミュニケーションスキルやデータ分析能力の向上を目指し短期間で企業全体の業務効率化を行う研修です。

研修の実施

Chat GPT 研修 基礎編

Chat GPT の基礎～業務への活用まで
研修参加者
お一人あたり **400,000 円** (税込)
標準学習時間：10 時間（2 ヶ月以内）

実践的 AI 活用研修 応用編

より実践的な AI の活用と業務への落とし込み
研修参加者
お一人あたり **400,000 円** (税込)
標準学習時間：カリキュラムにより変動

2 種類の研修カリキュラムのどちらか
をご選択頂き研修を実施致します。

助成金の活用

研修費総額
40 万

人材開発支援助成金
最大 **30 万円**

助成金申請

ご負担額
10 万円

弊社のサポートの元助成金を申請。
最大 75% の費用を助成金で補います。

スキルアップ

AI 基礎知識

数値分析力

文書構成力

ネットリテラシー向上

資料作成力

コミュニケーション力

自動化・効率化

問題解決力



研修を実施することで社員さま一人一人の様々な業務スキルが向上します。



助成金とは？

—— 事業展開等リスクリング支援コース ——

最大1億円の助成金がもらえる人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、新しい事業や事業拡大のための知識や技術を学ぶための教育費用を国が一部補助する制度。

中小企業の場合、**使用した金額の75%**が助成金として返ってきます。



助成金の対象

対象の教育内容

1. 教育時間が10時間以上であること
2. 会社の仕事とは別に行われる教育であること
3. **企業のDX化に必要な専門知識と技能を学ぶ教育内容であること**

支給対象者

事業主：雇用保険が適用される事業所の主

労働者：雇用保険に加入している人（アルバイトでも可）



助成金額詳細

助成率・助成金額

経費助成率		1事業所1年度あたりの 助成限度額
中小企業	大企業	
75%	60%	1億円

受講者1人あたりの経費助成限度額

	10時間以上100時間未満	100時間以上200時間未満	200時間以上
中小企業	30万円	40万円	50万円
大企業	20万円	25万円	30万円



助成金活用でさらにお得

通常価格でも十分にお得ですが、

助成金 **75%** を活用すると

通常価格

~~400,000円~~



100,000 (税込) 円

1名@10万円で社員を「AIも使える人財」にアップデート



他社との比較

	次世代AI研修	H社	S社
授業の内容	基礎～実践方法まで 幅広くわかりやすい学習内容	専門的すぎて ついていけない	初心者向けすぎて 物足りない…
取得できるスキル	難易度の低い自動化	難易度の高い自動化	効率化のみ
初回入会金	無料	無料	54万7,800円
受講料金（1名あたり）	10万円 ※助成金活用時	44万円	10,780円/月
オンライン相談会	1時間/週1回	15分/月1回	なし



実際に弊社が行った導入事例：D社

相談

シフト作成業務に追われ毎週残業続きで
経費を圧迫している

提案

スタッフのシフト作成や管理を自動化する
システムの導入

導入後の効果

週2時間残業してアルバイトのシフト作成をしていたのがシステムで自動化
1時間@2,500円の経費×週2時間カット=1ヶ月で20,000円の残業代削減
某飲食店を25店舗経営しているため、×25店舗で**年間606万円経費削減**できました。

残業時間を減らせたこと
により他の業務に専念で
き売上も向上

導入前

残業代

利益

導入後

残業代

利益

3年間で経費を

1,820万円削減

実際に弊社が行った導入事例：A社

相談

毎月かかる外注費用が高騰しているため
見直しを図りたい

提案

売上・領収書・請求書の作成や管理を
自動化するシステムの導入

導入後の効果

書類の作成・管理を自動化した結果、作業スピードが飛躍的に向上、
担当スタッフ数は4人→1人で十分になり月間20万円かかっていた**外注費用は1/4に削減**
削減した時間で空いたスタッフは新規販路拡大業務に専念できるようになりました。

スタッフ数を1/4に
減らせたことにより
新規販路の拡大ができる

導入前

外注費

利益

導入後

外注費

新規業務の利益

3年間で経費を

2,620万円削減

実際に弊社が行った導入事例：Y社

相談

会社のSNS媒体への投稿作業に時間と費用がかかりすぎていてうまく回らない

提案

各SNS投稿の作成→投稿フローを自動化
投稿頻度は、毎日各媒体1投稿ずつ

導入後の効果

BLOG、インスタ、X（旧Twitter）、3媒体毎日投稿で月13.5万円の外注費。
これらのアカウントを3つ運用しているので月間40.5万円の外注費がかかっていたところ、
内容作成・投稿の自動化をしたことにより**年間約500万円の経費削減**ができました。

外注費を削減したことにより
広告出稿に経費を使えるように

導入前

外注費

導入後

外注費

広告出稿に充てる資金

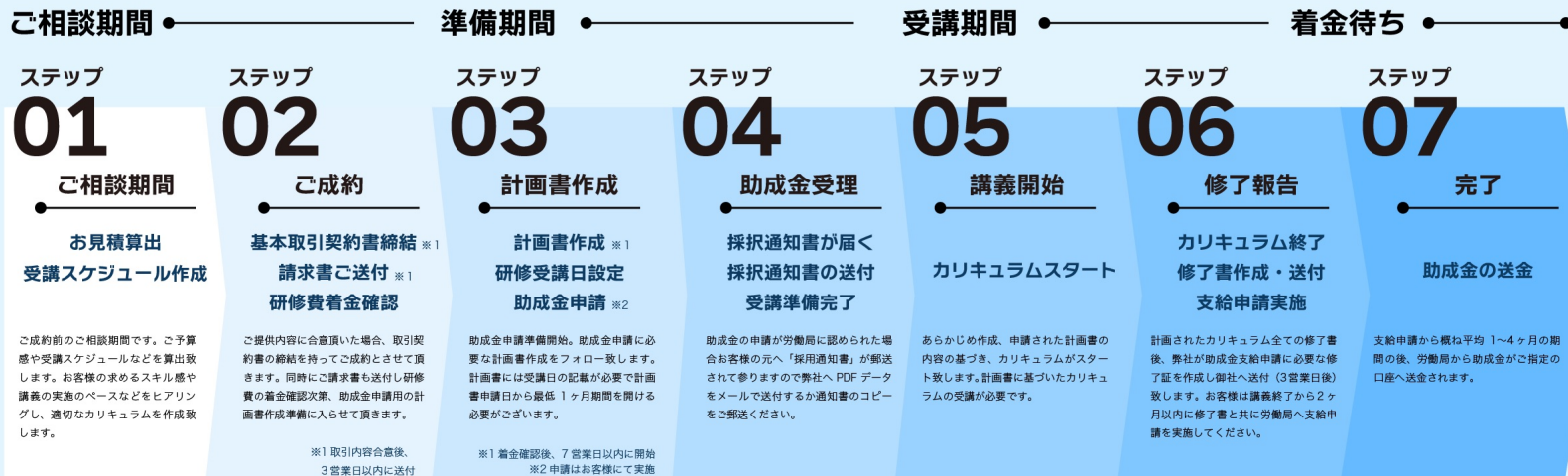
3年間で経費を

1,520万円削減

研修受講までの流れ

ご相談から計画書作成→講義受講→終了報告までの流れをご案内いたします。

弊社では助成金申請にあたり計画書作成からのフォローを実施させていただきますのでご安心ください

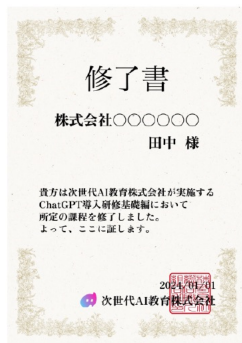


修了書の発行

当カリキュラムは「人材開発支援助成金」の助成金支給申請に必要な「修了書」を発行いたします。
全てのカリキュラムが計画通りに遂行された後、弊社より3営業日以内に郵送で送付いたしますので
カリキュラム終了後、2ヶ月以内に労働局へと支給申請を行ってください。



講義完了



修了書送付



助成金支給申請



中小企業主について

個人事業主で従業員を雇用している場合でも雇用保険に加入 + 雇用保険加入者数の条件が中小企業の規模に該当する場合は「人材開発支援助成金」の支給対象となります。

中小企業の基準

主たる事業	A 資本金額または出資の総額	B 企業全体で常時雇用する労働者の数
小売業（飲食店含む）	5,000 万円以下	50 人以下
サービス業	5,000 万円以下	100 人以下
卸売業	1 億円以下	100 人以下
その他の業種	3 億円以下	300 人以下

資本金等を持たない事業主は「B 企業全体で常時雇用する労働者の数」によって判断します。



研修の受講方法

研修の実施方法は講師を派遣し直接講義を行う「リアル講義」とオンライン会議ツール ZOOM を活用しての「オンライン講義」の2種類からお選びいただけます。



リアル講義

弊社から講師を派遣してご指定の御社やご指定の会議室にて講義を実施いたします。オンライン形式に比べ、対面での講義ならではの臨場感や現場感でより知識が体感に変わり易いという強みがあります。

- ・1カリキュラム=1講義/60分×10コマ。推奨受講完了日数3日(3.5h+3.5h+3h)
- ・一日の最低受講数3講義(120分)からご対応可能。
- ・受講会場はお客様側での確保をお願いします(自社オフィス・レンタルオフィス可能)
- ・会場には講義用プロジェクター・接続用HDMI・マイク・人数分の椅子と机をご準備ください。
- ・講義にて画像、動画、音声などのデータをやりとりする為Wi-Fi環境下推奨。
- ・推奨通信速度100Mbps~320Mbps



オンライン講義

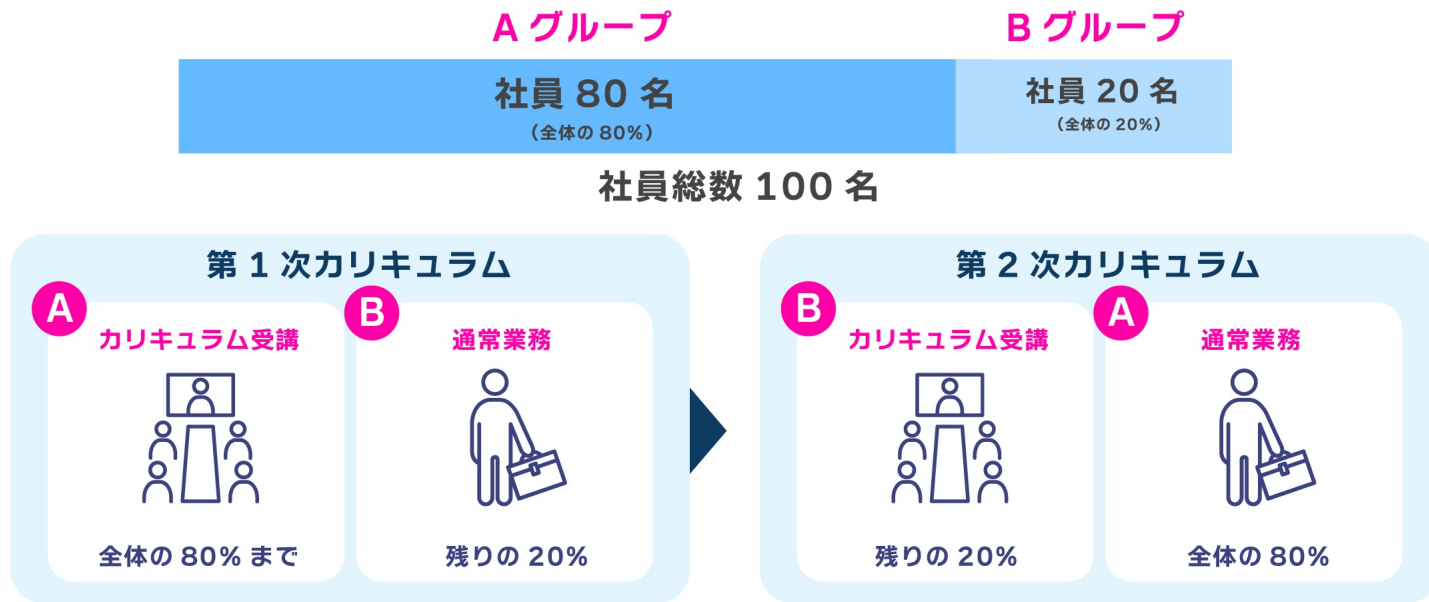
オンライン会議ツール「ZOOM」を活用した講義形式。リアルの会場を用意する必要がなく視聴環境さえ整っていれば受講場所を問わないため複数拠点での同時受講が可能です。

- ・1カリキュラム=1講義/60分×10コマ。推奨受講完了日数3日(3.5h+3.5h+3h)
- ・一日の最低受講数1講義(60分)からご対応可能。
- ・原則、受講者一人の対し一つの視聴端末(PC、タブレット、スマートフォン)をご準備ください
- ・事前にオンライン会議ツール「ZOOM」を端末にインストールしておいてください。
- ・講義にて画像、動画、音声などのデータをやりとりする為Wi-Fi環境下推奨。
- ・推奨通信速度100Mbps~320Mbps



研修を受講する上での注意点

労働局の定める助成金申請要件に基づき、**企業の生産性確保**のために一度に講義を受けることができる人数は会社の**社員総数の最大 80%** までとなっております。例えば、社員総数 100 名さまの会社の全ての職員がカリキュラムを受講する場合は下記の通りとなり、**常に全体の 20% 以上**の社員を通常業務で稼働させる必要がございます。





04

サービス詳細

ChatGPT 研修 基礎編 カリキュラム

基本となる「Chat GPT 研修 基礎編」のカリキュラムです。

一講義 60 分 × 10 講義 = 全 10 時間の中で Chat GPT を中心に AI や PC の基礎知識を学習することが可能で、一人一人が日々の業務で AI を活用しながら業務効率化を行うことができるようになるカリキュラムです。

Chat GPT 研修 基礎編

Chapter1	「Chat GPT」「openAI」とは
Chapter2	Chat GPT でできること
Chapter3	Chat GPT の活用事例
Chapter4	Chat GPT と SDGs
Chapter5	Chat GPT のはじめ方

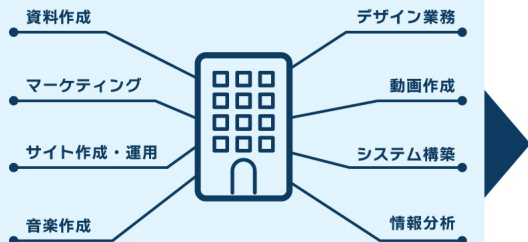
Chapter6	「Chat GPT」を使った「文書作成」
Chapter7	「Chat GPT」を使った「画像生成」
Chapter8	AI ツールの活用してみよう
Chapter9	プロンプトエンジニアリング
Chapter10	AI 活用の NG ケース



ChatGPT 研修 基礎編 カリキュラム 応用編

事前に準備されたカリキュラムを受講する基礎編に対して、より**ニーズに合わせた独自の内容**のスキルアップ研修をご提供できるのが応用編に当たる「**実践的 AI 活用研修**」です。基礎編とは違い Chat GPT 以外の AI ツールのレクチャー、及び業務への落とし込みが可能。より深い **DX 化・AI 化**をサポート致します。

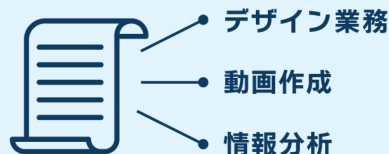
ニーズの深掘り



まずは御社の業務課題の深掘りを行い、どの業務にどの AI ツールを導入すれば課題が解決するかをコンサルティング致します。全社的にまず基礎編を受けた後に実施するのが効果的です。

独自カリキュラム作成

カリキュラム



ヒアリング結果に基づいて、お客様の業務課題を解決する AI ツールの教育を目的とした独自のカリキュラムを作成、助成金採択へ向け計画書の作成をサポートします。

カリキュラム実施



作成したカリキュラムを元に講義を実施いたします。カリキュラムの内容によって講義の内容やボリュームは変動いたします。





05

4つの特別特典

AI 時代をサポートする4つの特典

次世代 AI 教育株式会社では研修を受けて頂いた後も、激しく変化していく AI 革命時代を共に戦って行くことができるように手厚い4つのサポート特典をご用意いたしました。

4つの特別特典



自社メディア無料掲載

半年無料（80 万円相当）

弊社の運営する様々な自社メディア上で御社のサービスや会社情報を半年間宣伝いたします（約 80 万円相当）

1

2

3

4



研修後 AI アフターフォロー

2 ヶ月 2 時間相当

研修後も一定の期間 AI によるアフターフォローもご準備しているので研修が終わった後も安心。



AI 搭載ボイスレコーダー 「PLAUD NOTE」プレゼント

一名様（¥27,000 相当）

次世代のビジネスを大きくサポートする AI 自動要約機能を搭載したボイスレコーダーを一名様にプレゼント。



公式 LINE・メルマガ配信

最新情報をお届け

研修終了後も AI や先端情報に関する最新お情報をメルマガや公式 LINE にてお届けいたします。





06

お問合せ

お申し込み・お問合せ

お問合せ・ご質問に関しましては下記のメールアドレス・お問合せフォームにて承ります。

お気軽にご連絡ください。お問合せ、ご質問に関しましては概ね 3 営業日までにご返信させていただきます。

(平日 10:00～17:00 対応)

メールアドレス

info@nextaieducation.com

お申し込み・お問合せフォーム

<https://nextaieducation.com/contact/>



AI よりアイを込めて、

次世代 AI 教育株式会社

〒541-0047

大阪府大阪市中央区淡路町 1-6-9 8F

info@nextaieducation.com

<https://nextaieducation.com>